

HBMS施設



講義室

全教室にプロジェクター、大型スクリーン、講義収録システムを設置。



図書室

ビジネス関連書籍が多彩に揃う、静かで落ち着いたアカデミック空間。



学生サロン

仲間とのディスカッションや自習など自由に活用できるスペース。



大学院生研究室

パソコンを使って個人作業に取り組める環境を整えています。

学内施設



学術情報センター図書館

蔵書数30万冊を誇る、県内でも屈指の図書館。ラーニングコモンズも完備。

学外施設



サテライトキャンパスひろしま

市中心部に位置し、公開講座やセミナーを開催。プレゼン練習などに使用できます。

ACCESS

アクセス



JR広島駅から

- バスで** 広島バス「31号線(翠町線)」にて「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車…徒歩1分
- 市内電車で** 「広島港」行き(5号線)にて「県病院前」下車…徒歩7分

バスセンター(紙屋町)から

- 市内電車で** 「広島港」行きまたは「宇品二丁目」行き(1号線または3号線)にて「県病院前」下車…徒歩7分

八丁堀から

- バスで** 広電バス「12号線(仁保沖町)」にて「県立広島大学前(広島キャンパス)」下車…徒歩1分

広島港(宇品)から

- 市内電車で** 「広島駅」行き(1号線または5号線)または「広電西広島(己斐)」行き(3号線)にて「県病院前」下車…徒歩7分

お問い合わせ先

公立大学法人 県立広島大学 MBA業務推進担当
☎ 082-251-9726 ✉ mba-office@pu-hiroshima.ac.jp

県立広島大学
Prefectural University of Hiroshima

<http://mba.pu-hiroshima.ac.jp/ja/>

HBMS MBA 検索



HIROSHIMA BUSINESS AND MANAGEMENT SCHOOL

県立広島大学大学院 経営管理研究科

中国エリア唯一のMBAが取得できる
経営専門職大学院

2020

広がる。 そして、変わる。

HBMSでは、基礎となるビジネスマネジメント力をしっかり身につけたうえで、現代社会に求められる先端的マネジメント力を培うことによって、MBAホルダーにふさわしい高度な専門性と卓越した実践力を発揮できる次世代リーダーを育てます。

少人数のきめ細かな指導、多彩な仲間たちとの濃密な学びあいの2年間は、視野やネットワークそして可能性を飛躍的に広げます。その先には、想像を超えた自らの変化とともに、変化した自分が起こす組織、地域、世界の変化があります。





探究の今、



実践の未来。



新入生ウェルカムパーティ



ゼミでともに学ぶ同期の仲間と

HBMS 2年生

Wataru Fujishima

藤嶋 航

ピステオン・ジャパン株式会社 広島事業所 製品開発部

自動車向けオーディオ・インフォテインメントの設計・開発に携わるなかで、技術的な蓄積だけでなく、経営や人材活用など、違う視点を持つ必要性を感じていました。MBAの通信講座や書籍での独学も選択肢にありましたが、やはり対面での授業やディスカッションを通じて学ぶことは多いと考えたのがHBMSを選んだ理由です。

1年間、必修科目として基礎的な知識を蓄積し、2年の今、専門性の高い分野に学習の領域を広げています。専門科目では基礎科目よりも一段と議論のレベルが高くなり、先生方からの最先端の情報と学生同士の議論が白熱し、まさにHBMSの魅力が詰まっていると感じています。

私たちの仕事では、1つの製品をつくる工程で多くのチームや人が関わります。今までの私であれば、自分のアイデアに固執しがちでしたが、HBMSで学ぶことで、技術、人事、経営など、様々な視点で製品を見る習慣が付き、より深い提案ができるようになりました。

HBMSでは様々な業種の人が同期として集まり同じ机で学びます。授業の課題だけでなく各自が抱える課題について議論するうちに、授業以上の学びを得ることができます。自身の強みを活かして起業を目指す人、現場の課題をなんとか解決したい人、皆が先生方と仲間の力を借りて困難に挑戦しています。彼らの姿をみると私自身もより一層課題に取り組む力が湧いてきます。

HBMS 2017年修了生

Kahori Matsubara

松原 かほり

医療法人社団明和会 大野浦病院 パートナーシップ推進室

所属していた部署の管理職となり、マネジメントの知識と、これからの人生のヒントを得たいというのが入学の動機でした。ビジネススクールなので実践が中心かと思いましたが、医療介護の歴史や成り立ちからしっかりと学ぶことができ、理論の基礎を固められたことが、現在の実践や応用につながっています。

異業種の人と一緒に学ぶこともHBMSの大きな魅力です。専門性を追求する医療介護業界と違い、マネジメントや経営には社会の動向を広く理解することが必要。様々な業種の考え方やアイデアを聞くことで、視野を広げることができました。

2年間の在学中、仕事と大学院を両立していく中で、自分自身に胆力が付きはじめたことを実感しました。それによって、世の中のあらゆる難題も必ず解決手段はある、という発想を得て、興味があることには臆さず挑戦することで、自分の世界が広がる。そして、私の人生もまだ可能性にあふれていることに気付かされました。

修了後は学びを活かすため、経営者直属の部署を立ち上げ、業務推進や人的資源管理、広報・PRに携わるようになりました。部署が変わり悩みも増えましたが、今の私には心強い同期がいます。誰かに相談すれば、必ず何かヒントがもらえる。そんな頼れる仲間や先生方とのネットワークを得たことが、私にとって最もかけがえのない財産となっています。



HBMS修了生と在校生とのワークショップ



ベトナム視察研修の様子

まだ見ぬ新たな時代の リーダーたちへ

今、社会が大きく変化していることにみんなが気づき始めました。しかし、議論や意見は沢山あっても課題の本質に迫った議論やメリハリの利いた行動はなかなか起こっていません。そのような思考と行動をするために必要な高度スキルが伴っていないからです。

私たちはそのような高度スキルを「身体知」と考えています。頭で理解するだけでなく訓練を通じて身に付けるものだということです。

そのためにHBMSは世の中をより深く理解し、現象を超えて課題を見つけ出すシステム・スキル、それを新しい行動に結びつけるデザイン・スキル、そして、その行動を通じて効果を追求するマネジメント・スキルを三位一体で組み立てた訓練プログラムを提供していきたいと考えています。まだ緒についたばかりですが、学生・修了生、教員、マネジメント・スタッフの共同作業でこの方向に向けてたゆまない努力を続け、抜きんできた存在になることを目指しています。



経営管理研究科長

横山 禎徳

Yoshinori Yokoyama



ビジネス・リーダーシップ専攻長

江戸 克栄

Katsue Edo

近年の情報化やグローバル化は、社会システム及びそれを取り巻く環境を変化させています。その多様な変化の中で適応していくために、従来の「個人価値」や企業を含めた「組織価値」から、「地域や社会の共有価値(コモンズ価値)」への転換が求められています。

グローバル社会による「日本と世界」、地方創生における「地方と都市」、マーケティングが生み出した「企業と消費者」、経営戦略や企業競争の結果としての「勝ちと負け」、製品やサービスの「価格と品質」といった2つの対立軸やトレードオフ関係の発想から脱却し、新しい第3の軸をイノベーションによって生み出すことが、農林水産業、製造業、サービス産業が生き残っていくための必要条件となっていきます。HBMSはこのような時代の中で、第3の軸を追求し、その新しい価値をコモンズ価値へと発展させることのできるリーダーを育成することを目指し、多くの分野からの学生のためにプログラムを提供します。

Mission Statement ミッションステートメント

HBMS(Hiroshima Business and Management School)では、<起業する>、<イノベーションを起こす>、<マネジメント力を高める>、<事業を承継・発展する>といったビジネスパーソンのニーズに応えたマネジメント力の育成に加え、社会の大きな変化を捉えた先端的マネジメント力の開発によって、日本の地域あるいは世界で求められる次世代型リーダーを育成、輩出することを目指します。

HBMSの教育体系



多様性と共有価値をマネジメントする
次世代ビジネスリーダーの育成

Diploma Policy 修了認定・学位授与の方針

本研究科では、「起業する」、「イノベーションを起こす」、「マネジメント力を高める」、「事業を承継・発展する」といったビジネスリーダーの共通基盤となる能力に加え、社会の大きな変化を捉えた先端的なマネジメント力を開発することによって、高度な専門能力と卓越した実践力を備えた次世代型リーダーの輩出を目指します。本研究科の教育課程において所定の修了要件を満たすなかで、上記の能力を涵養した学生に経営修士(専門職)の学位を授与します。

学位名称	経営修士(専門職) Master of Business Administration (MBA)
------	--

Admission Policy 入学者受入れの方針

本研究科は、創造的で活力のある経済社会を持続・発展させるために不可欠な、企業等組織の経営革新や新たな事業創造を絶え間なく実践していくビジネスリーダーを目指す学生を求めています。ビジネスリーダーを目指すにふさわしいチームリーダーを一定期間以上務めるなど、実務経験と社会経験(学生時代の活動も一部含まれる)を持つことを前提としています。次のような意思を持った社会人等の入学を想定しています。

- マネジメントの知識と実践力を高め、新たなビジネスを創造したい人
- イノベーションを起こし、広島から世界に発信したい人
- 地域創生に向けて自ら企画し、リーダーシップを発揮したい人
- 広く人脈を築くために、コミュニケーション能力を向上させたい人
- 人生の可能性を広げるために、高い意欲を持って経営学を学びたい人

以上のような学生を選抜するために、「小論文型」「プロジェクト提案型」「企業等推薦」の各入学者選抜試験において、理解力・判断力、プレゼンテーション力、着眼点・発想力・課題設定力、意欲・積極性を測ります。また、小論文型入試では、読解力、思考力、論理力・表現力、日本語力を、プロジェクト提案型入試では、提案されたプロジェクトの論理的一貫性、独創性、具体性、経済性を加味して総合的に判断します。

Curriculum Policy 教育課程編成・実施の方針

本研究科は、修了認定・学位授与の方針に掲げる学修成果を達成するため、基礎科目、応用科目、専門科目、実践科目を編成します。各プログラムに必要な科目を段階的・体系的に配置し、講義・演習などの授業形態により、各科目の目標到達を目指します。

①基礎科目
当該科目に配置される授業科目は、経営系各分野の人材養成の基本となる授業科目です。具体的には、マネジメント機能の基礎となる「経営戦略」、「マーケティング」、「ファイナンス」、「アカウンティング」、「経営組織と人材マネジメント」、「マネジメントの法と倫理」などです。

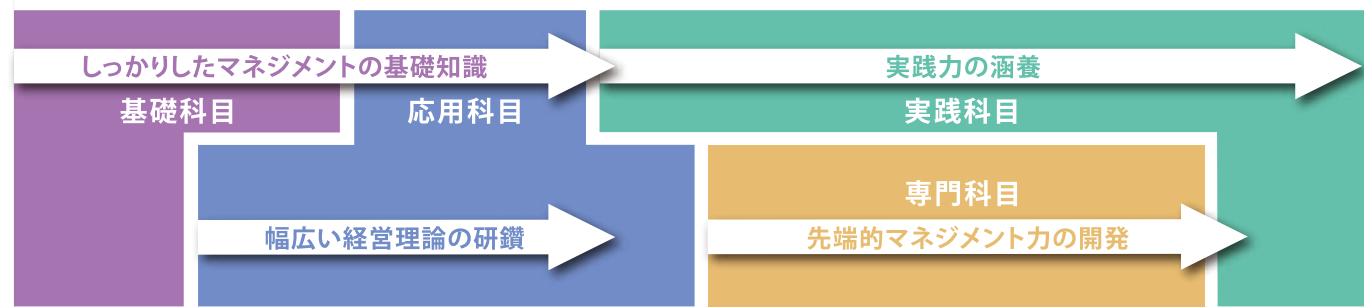
②応用科目
当該科目に配置される授業科目は、リーダーシップを発揮できる高度な専門能力を高めるための授業科目です。具体的には、イノベーションを起こす力を養う「イノベーション戦略」や「戦略としての社会システムデザイン」、事業を承継・発展するための「事業承継マネジメント」や「スモールビジネスのファイナンス」などです。

③専門科目
当該科目に配置される授業科目は、多様性を活かしながら単体の企業だけでなく、地域、コミュニティとともに総体としての価値を持続的に高めていくマネジメント能力を養成します。専門科目は大きく4つの領域に分かれています。農林水産業を含む地域の自然資源のマネジメント力を養う「地域資源マネジメント」、人々の多様なニーズに応えた持続的な医療介護保障のマネジメントを学ぶ「ヘルスケアマネジメント」、インターネットを含めた共有の場<コモンズ>のありかたを学ぶ「コモンズマネジメント」に加え、専門的かつ先端的なビジネスやマネジメントを極めるための時代を捉えたテーマを取り上げる「特別テーマ」です。

④実践科目
当該科目に配置される授業科目は、ビジネスを具現化する力や、やり抜く力など、事業創造ができる能力を高めていきます。ビジネスプランを作成し、その実効性を検証することによって実践力の向上を図ります。具体的には「プロジェクト研究」です。学修成果の評価については、能動的な学修を促す手法を積極的に導入し、適正な学修時間を確保した上で、研究科案内・シラバスに配点割合をあらかじめ示した多面的な評価基準により厳正に行います。具体的には、授業で発展・向上をはかる「知識」、「分析力」、「思考力」、「事業創造力」、「実践力」について、判断する基準を各科目において設けた上で、開講中や期末に行うレポート・筆記試験等のほか、授業への能動的な参加度や貢献度を観察したり学生相互に評価させたりするなどの方法を用い、総合的に評価します。

ビジネスリーダーを輩出する教育システム

教育プログラム編成の基本的な考え方



授業科目一覧

4つの科目区分を設定し、実践的な教育を展開 ※各科目2単位(「プロジェクト研究2」のみ6単位)
◆必修科目 ◇選択必修科目

基礎科目 10科目

経営戦略、マーケティング、人材マネジメントといった経営学の基礎を学びます。「使える」経営学を身につけるため、講義形式に加え、ディスカッションを多く取り入れ、自ら考える力を培います。

◆ 現代社会における先端的マネジメント	◇ アカウンティング	◇ マーケティング	◇ ファイナンス	ビジネス統計
ベンチャーの経営戦略	◇ 経営組織と人材マネジメント	◇ マネジメントの法と倫理	◇ 経営戦略	多様な価値とファシリテーション

応用科目 9科目

<起業する>、<イノベーションを起こす>、<事業を承継・発展する>、<マネジメント力を高める>を実現するために基礎科目をさらに深め、広げ、応用できる能力を高めます。さまざまな角度から応用力を鍛えるためグループワークを積極的に取り入れます。

マーケティングリサーチ	スモールビジネスのファイナンス	イノベーション戦略	多様性と人材マネジメント	組織のガバナンス
戦略としての社会システムデザイン	サプライチェーンマネジメント	生産管理	事業承継マネジメント	

専門科目 16科目

<地域資源マネジメント>、<ヘルスケアマネジメント>、<コモンズマネジメント>の3つの先端分野に加え、社会のスピードにあわせアドホックに<特別テーマ>を設定します。多様性を活かしながら単体の企業だけでなく、地域、コミュニティとともに総体としての価値を持続的に高めていくマネジメント能力を養成していきます。

地域資源マネジメント	持続可能な自然資源マネジメント	アジア型環境ビジネス創造	地域ブランド戦略とデザインマネジメント	
ヘルスケアマネジメント	医療介護の制度経営	医療介護の事業経営	医療介護のイノベーション	
コモンズマネジメント	社会イノベーション	共生社会の理念と実例	地域経営と社会的合意形成	
特別研究 A~G	グローバルビジネスマネジメント	IoT社会のビジネス創造	経営のリスクマネジメント	マネジメントアカウンティング
	サービスマネジメント	スタンフォード大学連携科目	医薬流通のイノベーション	

実践科目 2科目

ビジネスを具現化する力や、やり抜く力など、事業創造ができる能力を高めていきます。ビジネスプランを作成し、その実効性を検証します。企業・団体等とも協力、連携して実施していきます。

◆ プロジェクト研究 1	◆ プロジェクト研究 2
--------------	--------------

※上記は令和元年6月末時点での情報です。今後、変更の可能性があります。

最新情報はHBMSウェブサイトをご覧ください。

HBMS の特徴的な授業内容

基礎科目	応用科目	
現代社会における先端的マネジメント	スモールビジネスのファイナンス	多様性と人材マネジメント
現代社会における先端的マネジメントについて専任教員全員で行うオムニバス形式の授業です。先端的マネジメントの基本的考え方、基礎的分野における先端的マネジメント、さらには本研究科が提供しているカリキュラムの4つの柱である地域資源、ヘルスケア、コモンズ、特別研究の最先端の知識を講義形式中心に学習します。	コーポレートファイナンスが「大企業」を対象としているのに対して、スモールビジネスのファイナンスは、文字通り、「スモールビジネス(中小企業、ベンチャー企業)」を対象としています。授業では、「中小企業金融」と「アントレプレナーファイナンス」という大きく2つの学問体系をブレゼンテーションを交えながら学習します。	グローバル化は地域企業や中小企業を巻き込む形で進化しています。本授業では国際経営における人材マネジメントを多様な人材の管理、すなわち「ダイバーシティ・マネジメント」と位置付け、①国際経営の理論、②国際人的資源管理の概要、③多様な人材のマネジメント手法に関して、理論的かつ実証的な考察を行います。

専門科目

<h3>アジア型環境ビジネス創造</h3> <p>アジア新興国・地域は、中国・インド・ASEAN 主要4カ国・韓国・台湾など国・地域によって成長速度は異なるものの、先進国を上回る成長率の高さに注目が集まっています。各国・地域が、日本型の産業デザインとマネジメントによりそれぞれの抱える課題をどのように克服しているのか、さらには世界経済を牽引する潜在性について具体的な事例をもとに実践を学び、各動向を分析します。</p>	<h3>ヘルスケアマネジメント</h3> <p>ヘルスケア(healthcare)は介護を含みます。医療・介護ビジネスにとって主たる外部環境分析の対象は、国の制度・政策であり、これを経営の視点から説明する制度経営論で学び、続いて一般企業経営に照らした同ビジネスの事業者にとって参考となる経営の考え方や分析手法を事業経営論で学ぶ。その上で最新の制度改革や事業動向をイノベーション論で学ぶという体系的な講義を展開します。</p>	<h3>地域経営と社会的合意形成</h3> <p>地域経営に、企業、市民、NPOを始めとする多様なプレイヤーが参画するようになり、立場や価値観の異なる参加者の知見を地域課題の解決に生かす社会的合意形成のあり方が模索されています。本授業では、現代の地域経営に不可欠な「社会的合意形成」の方法論を学びながら、学生自らが社会的合意形成プロジェクトを企画・運営できる力を身につけます。</p>
<h3>グローバルビジネスマネジメント</h3> <p>グローバル化の進展は、あらゆる産業に大きな影響を与えるとともに、戦略上の重要なテーマになっています。本講義では、グローバルビジネスを取り巻く環境変化を理解した上で、①企業、②市場、③調達・生産等におけるグローバル化について、事例をもとにグループワークやプレゼンテーションを交え実践的に学習します。</p>	<h3>IoT社会のビジネス創造</h3> <p>これからの社会やビジネスを大きく変えていく可能性を秘める Internet of Things「モノのインターネット」と呼ばれる技術を技術的に深入りしないように学びつつ全体像を理解してもらいます。また、IoT を利用したサービスの現状調査をした上で、実装や実現をイメージしつつ IoT を利用したビジネスを考察してもらいます。</p>	<h3>スタンフォード大学連携科目</h3> <p>スタンフォード大学は、世界にイノベーションを送り出すシリコンバレーにとっては欠かすことのできない教育機関です。そのスタンフォード大学とHBMSが独自のWEBオンライン授業を共同開発しました。企業家や専門家のゲストスピーカーの講義を通して、イノベーションやアントレプレナーシップについて学びます。</p>

土曜日と集中授業で修了できるカリキュラム

社会人学生に対応した履修環境を実現しています

- 開講時間は平日の18時30分から21時30分までの2時限、土曜日は9時から19時30分までの6時限を開講
- 授業は1回につき2時限連続(90分×2)
- 1つの科目は8週間(試験期間を含む)で完結するクォーター制
- 夏期・春期の週末を利用した集中講義の実施

幅広い経験と実績を誇る教員陣



Yoshinori Yokoyama
横山 禎徳
研究科長

専門分野 戦略マネジメント、社会システム・デザイン、組織デザイン、ファイナンス、M&A

学歴・職歴 東京大学工学部建築学科卒
ハーバード大学院都市デザイン修士、MITスローン大学院MBA
マッキンゼーアンドカンパニー東京支社長

主要著書・論文 『社会システム・デザイン—組み立て思考のアプローチ』(2019)
『デザインする思考力』(2014)



Katsue Edo
江戸 克栄
専攻長 / 教授

専門分野 マーケティング、マーケティング・リサーチ、地域ブランディング、防災マーケティング

学歴・職歴 慶應義塾大学商学部卒業 慶應義塾大学大学院商学研究科修士課程修了 慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程単位取得退学 文化女子大学(現文化学園大学)専任講師、准教授を経て、教授

主要著書・論文 『循環するファッション—新しいデザインへの挑戦—』、2013年、文化出版局(共同監訳・監修)
『戦略的マーケティング:レビュー、体系、ケース』、芙蓉書房、2008年(部分執筆)



Takumi Adachi
安達 巧
教授

専門分野 コーポレートガバナンス、企業法、ビジネスモデル、事業計画、企業評価、アントレプレナーシップ

学歴・職歴 博士(経済学、東北大学) & 修士(法学、東北大学)。起業、会社経営及び税理士事務所経営等を経て現職

主要著書・論文 『コーポレートガバナンスと監査と裁判所』ふくろう出版(単著、2014年。日本図書館協会選定図書)、『会計基準の法的位置づけ—財務書類の真実性と会計・監査基準—』税務経理協会(単著、2004年)、『企業倫理とコーポレートガバナンス—知的資産の有効活用—』創成社(単著、2002年)、『ディスクロージャーとアカウンタビリティ—監査人としての公認会計士の責任—』創成社(単著、2002年)ほか著書・論文多数。



Kunio Endo
遠藤 邦夫
教授

専門分野 病院及び薬局経営、医薬品流通、製薬産業

学歴・職歴 昭和53年4月 矢野経済研究所入社
昭和62年5月 文部省統計数理研究所委託研究員を兼務
平成24年4月 矢野経済研究所ライフサイエンスユニットフェロー

主要著書・論文 『看護経済学』法研(2002年9月、共著)
その他、矢野経済研究所から医療等に関するレポートを多数執筆



Hiroshi Kitani
木谷 宏
教授

専門分野 人的資源管理論、ダイバーシティ・マネジメント、企業の社会的責任(CSR)、働き方改革

学歴・職歴 東京大学経済学部経済学科卒業 ジョージ・ワシントン大学大学院公共政策研究科修士課程マーケティング専攻修了(MBA) 中央大学大学院総合政策研究科博士後期課程総合政策専攻単位取得退学 博士(経営学、麗澤大学) 食品企業 経営企画部長 学習院大学経済学部特別客員教授 麗澤大学経済学部教授を歴任

主要著書・論文 『「人事管理論」再考 多様な人材が求める社会的報酬とは』生産性出版、2016年
『ビジネスキャリア検定標準テキスト 人事・人材開発2級』社会保険研究所、2014年(監修)



Yoshihiko Shichida
七田 良彦
教授

専門分野 ファイナンス、会計学、経営学、会計情報と意思決定

学歴・職歴 慶應義塾大学経済学部卒業、米国三井物産株式会社 経理部 課長(在New York)
物産ナノテク研究所 取締役(在茨城県つくば市)、PT物産オートファイナンス 取締役(在Jakarta)
三井物産エレクトロニクス 常務取締役、三井農林 取締役、サンエイ糖化 取締役 ほか
青山学院大学非常勤講師、亜細亜大学非常勤講師(兼務)



Zaiken Nishida
西田 在賢
教授

専門分野 医療・介護の制度政策と事業経営、および同分野の情報システム

学歴・職歴 東京大学大学院工学系研究科情報工学専門課程修了・修士(工学)
日本医科大学大学院医療管理学専攻・博士(医学)。静岡県立大学名誉教授。
県立広島大学HBMS地域医療経営プロジェクト研究センター長

主要著書・論文 『災害復興からの介護システム・イノベーション』ミネルヴァ書房、2016年(共著)
『ソーシャルビジネスとしての医療経営学』薬事日報社、2011年(単著)ほか著書、論文多数。



Hiroko Hyakutake
百武 ひろ子
教授

専門分野 合意形成、まちづくり、都市デザイン、感性哲学

学歴・職歴 早稲田大学理工学部建築学科卒業 同大学大学院理工学研究科建築計画専修修士課程修了 (株)野村総合研究所研究員を経て、ハーバード大学デザイン大学院(GSD)都市デザイン修士取得 東京工業大学社会理工学研究科価値システム専攻博士課程修了・博士(工学) 一級建築士 NPO法人合意形成マネジメント協会理事長

主要著書・論文 『環境と生命の合意形成マネジメント』東信堂、2017年(共著)
『美し国への景観読本』日刊建設通信新聞社、2012年(共著)他



Kenji Kuroda
黒田 健治
准教授

専門分野 アカウンティング、ファイナンス、バリエーション、アントレプレナーシップ

学歴・職歴 中央大学経済学科経済学部卒業
(株)アーバンコーポレーション勤務後、公認会計士試験合格。
デロイト・トーマツで監査、IPO支援、ヴェンチャーサポートに従事。
現在、黒田公認会計士事務所代表、(株)クロスク代表取締役



Yoshinobu Soda
早田 吉伸
准教授

専門分野 経営戦略/CSV、新事業開発/ビジネスデザイン、コミュニケーション戦略、官民連携/地域活性化

学歴・職歴 日本電気株式会社(NEC) 東京オリンピック・パラリンピック推進本部 本部長代理(兼)経営企画本部 内閣官房 構造改革特区・地域再生推進室 政策調査員、情報通信技術(IT)総合戦略室 主幹
慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 非常勤講師 他

主要著書・論文 『国内外の事例分析に基づく日本型フューチャーセンターのデザイン』、地域活性化研究Vol.3, pp.85-94(2012.3)
『社会価値デザインとIT(1)~(10)』、行政&情報システム(2015.4-2018.4) 他



Yoji Takahashi
高橋 陽二
准教授

専門分野 アントレプレナー・ファイナンス、コーポレート・ファイナンス、アントレプレナーシップ

学歴・職歴 大阪市立大学商学部商学科卒業、神戸大学大学院経営学研究科市場科学専攻博士課程前期課程修了・修士(商学)、同後期課程修了・博士(商学) 岐阜聖徳学園大学経済情報学部専任講師・准教授
米国ハワイ大学マノア校シンドラービジネススクール客員研究員 名古屋大学教育学部非常勤講師

主要著書・論文 『知識の基盤になるファイナンス』中央経済社、2018年(共著)
『オープン・イノベーションのマネジメント』有斐閣、2015年(共著)



Yasuo Tsuchimoto
土本 康生
准教授

専門分野 情報通信技術・インターネット・教育

学歴・職歴 博士(政策・メディア)(慶應義塾大学)
東京大学 情報理工学系研究科/工学部 国際工学教育推進機構 特任講師
横浜商科大学商学部経営情報学科 准教授

主要著書・論文 入門SNMP(オライリー・ジャパン)
TCP/IPネットワーク管理(オライリー・ジャパン)



Mayako Tsuyuki
露木 真也子
准教授

専門分野 社会イノベーション普及論、社会起業家、社会的企業、非営利組織論

学歴・職歴 金沢工業大学大学院工学研究科知的創造システム専攻修了・修士(工学)
東京工業大学大学院社会理工学研究科社会学専攻修了・博士(学術)

主要著書・論文 『社会貢献によるビジネス・イノベーション—「CSR」を超えて』丸善出版、2012年(共著)
『社会イノベーションの普及志向』日本地域政策研究、2017年(単著)



Narumi Yoshikawa
吉川 成美
准教授

専門分野 農業と持続可能な地域ビジネス、自然資源管理、CSA(Community Supported Agriculture) 食料システム構築

学歴・職歴 上智大学文学部卒業、早稲田大学大学院アジア太平洋研究科環境と可能な発展論専攻修了(修士 国際関係学)、東京農業大学大学院農学研究科博士後期課程修了(博士 農業経済学)、西安交通大学公共政策管理學院研究員・講師、早稲田大学早稲田環境学研究所主任研究員 早稲田大学HNRM研究所客員主任研究員

主要著書・論文 『クライメート・チェンジ』清水弘文堂書房、2018年(監修・共著)、『共生主義宣言』コモンズ出版、2017年(共著)、『高晶学』藤原書店、2011年(共著)、『中国の森林再生』御茶ノ水書房、2009年(共著)





龍田 奈緒

廿日市市 佐伯支所
市民福祉グループ

学んだ知識とスキルを 地域の課題に活かしたい

市役所で保健師として勤務していますが、高齢化率の高い中山間部の支所に配属となり、地域全体で支え合う仕組みづくりである「地域包括ケアシステム」の重要性を真に実感。実際どのような手法や技術が必要で、何から始めればよいのかという問題に直面し、ヘルスケアマネジメントが学べるHBMSに入学しました。看護師の経験もあるので医療・福祉からのアプローチは日々、実施していますが、考え方が偏ってしまうので、異業種の方の意見が聞けることや多職種との協働など、HBMSだからこそ得られるものがたくさんあります。ファシリテーションなど今すぐ保健師として活かせる技術も学べますし、最先端のヘルスケアマネジメントを経験豊富な講師から教えていただけるのも大きな魅力です。授業で学んだ合意形成の重要性を感じたことから、今後は「地域経営と社会的合意形成」の研究にも力を入れて、将来的に高齢化がますます進んでいく地域の課題解決のために、身に付けたスキルを活かしたいと思います。



前田 政登己

株式会社マエダハウジング

事業として成功につながる ビジネスモデルを追究

27歳で起業し、手づくりのチラシを一軒ずつ配るところからスタート。社員に支えられて地場のリフォーム会社として認めてもらえるようになりましたが、私自身、経営やマネジメントの経験がなく、本を読んで我流で勉強したものの、いつかきちんと学び直しをしたいと考えていました。会社との両立に不安を抱いていたとき、同じように経営者としてHBMSに通った先輩に背中を押してもらい入学を決意。会社を空けるときもありますが、社員がしっかりサポートしてくれますし、私がいなくても仕事が回る会社に成長を感じることができました。今、研究しているのは「戸建て断熱リノベーションの再販」。ヒートショックによる死者は交通事故の5倍という大きな問題ですが、広島では意識が低く、ビジネスとしては厳しいと言われていました。それでも修了までに課題解決を探り、先生や仲間の手も借りながら、実行できるビジネスモデルをつくりたい。架空ではなく実際にビジネスとして成功させ、在学中に掲げた新たなビジョン「広島の暮らしをデザインする」を実現していきます。



長倉 潤

株式会社中国新聞社 経営本部 企画室付
株式会社中国新聞情報文化センター

素晴らしい仲間と 広島の活性化をめざす

新聞社勤務17年。地方新聞社と電通の出資会社に取締役として出向後、新商品開発事業、クラウドファンディング事業の立ち上げに携わったものの、経営に関しては漠然としたままで、1期生にHBMSの話を聞き、「これしかない！」と志願。異動のタイミングもあって、昨年ようやく入学が叶いました。魅力を感じたのは、経営に必要な「人・モノ・カネ・情報」について体系的に学べること。ほんやりとしていた経営というものを理解することができ、2年からは自分でテーマを決めて取り組めるので、私は新しいメディア企業の在り方を研究しようと考えています。MBAと聞くとハードルが高く不安もありましたが、素晴らしい先生と同期に恵まれ、日々充実しています。仲間と熱い議論を交わしながらつくりあげていく作業は、学生時代の部活動のよう。そんな出会いもHBMSならではの、ここで学んだことを、社内の提案で具現化すること、そして、同期と一緒に広島の活性化につながるプロジェクトをいつか実現したいですね。



永田 秀晶

株式会社ハコジム

学びながら構想を具現化し 起業を実現

自動車部品の設計をしていましたが、自分の仕事为社会へ与える影響度を最大化したい、と一念発起。起業を視野にHBMSの1期生となりました。着想はアメリカでの駐在中に、アパートの住民がいつでも気軽に利用できるトレーニングルームを見たこと。運動を生活習慣の一部として取り入れやすい環境を日本にも定着させたいと、個室のトレーニングジムを考案。授業で学んだビジネスモデルのつくり方を活かして、アイデアを数字に落とし込んでいきました。入学前まで資金調達の手段をあまり知りませんでしたが、ファイナンスの授業で借入れのほかには第三者割当増資などの手段があることを知ったことは、その後の資本政策に役立ちました。構想から具現化まで、先生の多面的なアドバイスのおかげで、2年次に「ハコジム」を事業化。HBMS第1号の勇気ある起業として、同期から記念の桶をいただいたときは感激しました。時間のやりくりで苦労しましたが、いつも声を掛けてくれた仲間の存在と、アイデアが形になっていく喜びで、大学院生活は非常に充実したものとなりました。



新谷 さゆり

独立行政法人中小企業基盤整備機構
中国本部 企画調整課

ディスカッションを重ねて 自分の成長を実感

中小企業の経営などをサポートしている国の機関に勤めています。実際に企業をサポートする部署を経て、現在は総務・経理・広報、又職場環境の活性化などを担う部署に所属しています。仕事柄、興味のある働き方改革のセミナーを聴講した際に、初めてHBMSに出会いました。経営に係る知見をさらに高めたいと思っていたところ、ものづくり、サービス、医療、コモンズなど体系的に学べるプログラムとディスカッション形式に魅力を感じ、入学することを決意しました。在学中は、関心を持っていた社会的包摂を実現する仕組みづくり、コミュニケーションや幸福度について研究しました。意識や受け止め方を変えたり、お互いを思いやる仕組みをデザインすることで、誰もが社会と繋がることができ、社会的包摂は実現されていくのではないのでしょうか。今後はHBMSでの学びを活かし、職場環境の活性化、また企業、行政、NPO法人など様々な機関が繋がって、社会的包摂が実現できる、事業モデルの促進にも取り組んでいければと思っています。HBMSでディスカッションを重ね、対話することの楽しさ、対話することをあきらめないことで得られる達成感を実感できたことで、積極的に発言や提案ができるようになったことも、私自身大きな財産となっています。



村上 真知子

株式会社アスコン
西日本事業本部 企画媒体課

女性としてのキャリア像を 先生の姿に学ぶ

情報誌の編集・デザイン・営業のチームすべてを統括する立場となり、経験や勘だけでは限界を感じていました。社内には女性経営陣がおらず、自身の将来像が描けず不安を感じていたときに出会ったのが、HBMSで活躍している女性の先生方でした。講義の内容はもちろん、その存在感や生き方に憧れ、入学してから、仕事や人生のことを聞いていただき、先生自身のキャリアの話もたくさん聞かせていただきました。仕事と勉強で大変な時期もありましたが、先生やマネジメントスタッフのフォローと、何より同期生に助けられ、2年間学ぶことができました。修了後も先生や同期生と交流は続いていて、少しずつビジネスにもつながっています。モチベーションと向上心あふれる仲間と、「広島が好き」という共通項をもって、地域に貢献する力になっていきたいと思っています。また、情報誌で培ったノウハウと2年間の学びを活かした新規ビジネスにも挑戦していきます。



異なる業種のアイディアや新たな学びとの出会いに 発見と刺激を得る かけがえのない2年間

「意識を変える」「楽しむ」ことで 両立はできる

島川 お二人のHBMS入学の動機は？

貞本 私は県立広島大学の卒業生で、経営に特化した大学院ができると聞いたときから興味を持っていました。社会人になって、人事総務部への異動を機に、経営のしくみを理解できるようにになりたいと思い、受験を決意しました。

栗原 私は薬剤師として勤務していきなで、年々仕事内容も変わっていき、日本病院薬剤師会や日本薬剤師会などの仕事をする機会が少しずつ増え、その中でマネジメント力や論理性を求められるようになり、そうした知識を踏まえた上で組織に関わっていきたく考えたのがHBMSを選んだきっかけです。



島川 入学前と後での自分自身の変化は？

栗原 経営に関する文章や言葉を目にしたとき、以前より深く読み込めるようになりました。仕事でも、症例を文章にまとめるときに起承転結を意識するようになり変わりましたね。

島川 HBMSで体系的に自分の意見をまとめる訓練ができているということですね。

貞本 私は何でも納得いくまでやり遂げたい傾向があるのですが、HBMSではレポート提出や課題図書が多く、完璧にこなすのが難しい。そのお陰で優先順位を付ける方法や時間のやりくりができるようになりました。

島川 時間のやりくりが自然と身につけていきますよね。授業のある日はどのようなスケジュールで生活していますか？

貞本 例えば今日は、授業で提出するレポートを上げるために朝4時に起きました。授業の日は朝1時間ほど勉強してから出社し、仕事を早く切り上げて学校に通っています。私は授業の後に家で勉強するのが難しく、朝型に切り替えました。

栗原 私は完全に夜型です。帰宅して子どもが寝たタイミングで課題をしたり、残務や執筆をすることもあります。大学院生活に慣れたら、健康のために朝型に切り替えたいですね。

島川 仕事と勉強を両立させるコツは？

貞本 入学当初は業務量と課題のバランスが取れず悩みました。同期からのアドバイスや、この本を読んだら考え方が変わるよと教えてもらったことで乗り越えられたので、本当に感謝しています。会社でも周りの人にフォローしてもらっている分、自分ができることで会社に還元していくというように、「意識を変える」ことも大事だと感じます。

栗原 「楽しむこと」です。私は分からないことを楽しんでしまうタイプで、追い込んでる自分が

好き!という性格なので(笑)、今は仕事と勉強の両方を楽しんでいます。

「学びは始めるのに年齢は関係ない」

島川 ご家族の反応ははどうですか？

貞本 実は来年結婚を控えておられて…

栗原・島川 おめでとございます！

貞本 ありがとうございます。以前から28歳くらいで家庭を持ちたいと考えていたので、逆算して大学院に通うなら今しかないというタイミングで入学しました。家族も後押ししてくれ、いろいろとフォローしてもらっています。



栗原 30代半ばになり、仕事が増えていくなかで、これに加えていま学生として過ごすのはどうなのだろう?と自問自答しました。妻も「どこにそんな時間があるの(笑)?!」と言っていました。そんな時に長男が産まれてきたのです。「大学生生活の2年間って、この子はまだ2歳なんだな」と考えると、2年間も短く感じられて、やるべきことはまだまだあると思い入学を決意しました。

貞本 親(同期自身)が学び始めたことで、お子さんも勉強をはじめたという同期の話聞き、背中を見せることも大事なんだと感じましたね。

島川 家族で「学びの共同体」が築けるとするのは素晴らしいですね。私も在学中に次女が生まれて大変でしたが、妻の理解があって、とても助けられました。今は妻が大学院に行きたいと言っています。家族の刺激にもなっているかもしれませんね。

貞本 小中学校の同級生のお母様が同期にいらっしゃるんですが、その話を母にしたら、「私も行きたい」と言いはじめて(笑)。学びは始めるのに年齢は関係ないですね。

島川 学びのタイミングはライフスタイルの中で人それぞれですから、自分がチャレンジしたいと思ったときに、誰かが後押ししてくれたり、家族が協力してくれるのは本当にありがたいですね。

「すぐに仕事に活かせる学び」

島川 授業の内容についてはどう感じますか？

貞本 2年生では専門科目として仕事に関連するサービス業の授業を選択するつもりだったのですが、1年間の学びの中で初めて知り、興味を持った「社会イノベーション」を選択しました。入学前は予想もしていなかった学問との出会いもあって、本当に刺激的です。

栗原 何も分かっていなかった大学時代とは違って、自発的に授業を受けたい科目がたくさんあります。

島川 働きながら学ぶことのメリットは？

貞本 会社で担当している研修の場で、学んだことをすぐに社員へ伝えることができます。私にとっては学びの振り返りになり、社員にとっても新たな発見につながっていて、私の話を聞いたことで、外部の研修に参加したいという人も出てきています。

栗原 大学生のときは、国家試験のためにかなり勉強をしていたのですが、この内容を勉強することがどういったことに結びついているのか理解しきれていませんでした。今は、授業を受けながらも自分の関わる仕事に落とし込んで考えられるようになりました。「この課題は、自分の会社や組織で考えるとあの問題点を指しているな」と具体的に当てはめながら、しっかり掴むことができるので楽しいですね。

島川 仕事は方法や手順が確立されていることが多いですが、HBMSで体系的に学ぶことで、なぜそれが必要なのか深く考えられるし、より良いプロセスに改良することもできる。学んだことを業務にフィードバックし、自分なりの考えを客観的に上司や後輩に伝えるためのコミュニケーション能力を高めることができるのがメリットですね。



「異業種の人々のアイデアを刺激に」

島川 学びを今後どう活かしていきますか？



栗原 異業種の同級生のアイデアや考え方はとても刺激になっています。これからは、様々な業種の人々のアイデアを自分の仕事に活かして、様々な形の利益を生み出す仕組みをつくりたいと考えています。

貞本 入学前は、この先どのようなキャリアを進むべきか分からなかった。今もお模索している最中ではありますが、どの方向に進めばいいか少し見えてきた感覚があります。今、仕事がかまうかまわないなどの悩みを抱えている人こそ、HBMS入学をおすすめしたいですね。

島川 HBMSは、ビジネスリーダーとしての未来を拓く能力とともに、多様な価値観と社会変化の中で、課題設定・解決に必要な高度なマネジメント能力も身につけられることが魅力的ですね。ビジネスとマネジメントの両方の視点で学べることは、大きな特徴です。1期生から4期生までの多くの仲間が増えたので、地域社会の様々な課題と向き合い、それらの解決に向けて貢献できるよう、一緒に考えていきたいですね。そして、広島からその成果を発信できるように共に頑張っていきたいと思います。

所属企業の業種

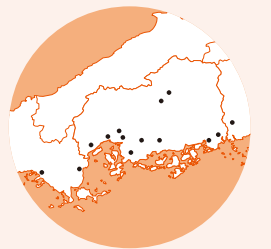
医療・福祉・介護/放送局/住宅リフォーム
情報通信/小売/製造/広告/冠婚葬祭
金融/行政/製薬/コンサルティング/ホテル
運輸/新聞社/薬局/教育

職種

営業/プランナー/システムエンジニア/経営者
議員/公認会計士/税理士/社会保険労務士
コンサルタント/看護師/経営企画/技術・
製品開発/薬剤師/MR/教員/保健師/経理

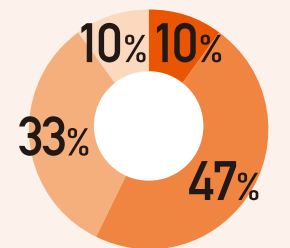
現住所

広島市/廿日市市/呉市/竹原市/東広島市
福山市/尾道市/三次市/庄原市
安芸郡府中町/安芸郡坂町/岡山県井原市
山口県周南市/山口県国市



年齢

20代 30代 40代 50代



性別

男性 女性

